



お祝いの言葉

長く続いた休校が明け、友だちと楽しく生活ができるようになりました。
今日は、南部小学校の創立百四十五周年です。この日を、全校生、先生、みんなそろってお祝いできること、とてもうれしく思います。

百四十五年前というとなかなか想像できません。その長い間に、たくさんの方が学んで、成長して、卒業していったことを考えると、長い歴史と伝統がある学校なのだと改めて感じます。僕もその歴史ある学校で学んでいることを、誇りに思います。

僕は南部小学校で生活している中で、好きなことが二つあります。一つ目は、あいさつです。元気に挨拶ができると気持ちがよくなるからです。二つ目は、他の学年との交流です。ぼくは優しく接することができないこともあるけど、下級生とも仲良くなれると、学校全体が明るくなる気がします。

僕は、いよいよ六年生になりました。新型コロナウイルスの影響で、いつもとは違う生活をしなくてはなりません。それでも、みんなで力を合わせて、アイデアを出し合えば、楽しい活動もできると思っています。みなさん、一緒にがんばっていきましょう。僕も、周りの人への感謝の気持ちを大切にしながら、最高学年として、下級生のお手本となれるようにがんばっていきます。

児童代表 6年